

平成30年7月13日

株式会社アスター向けシンジケートローンの組成について

～有望な知的財産権の事業性や将来性を評価した融資～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、株式会社アスター（代表取締役 本郷 武延）に対し、当行をアレンジャー兼エージェントとする総額41.7億円のシンジケートローンを組成しましたので下記のとおりお知らせいたします。

本シンジケートローンは、地元金融機関である当行、株式会社北都銀行、秋田信用金庫、羽後信用金庫、秋田県信用組合のほか、秋田県に支店を有する株式会社七十七銀行、株式会社岩手銀行が参加します。

株式会社アスターは、長年蓄積した金属加工技術を活用し、従来よりも小型で高出力な高効率モータの製造を実現する革新的コイル（アスターコイル）の開発に成功しました。NEDO^(注)の支援を受けつつ、大手メーカーと共同で2020年度の量産・実用化を計画しています。

当行は、当社が有する有望な知的財産権の事業性や将来性などを評価した結果、①当社が開発したアスターコイルを搭載したモータは、占積率の大幅な向上と抵抗値の低減により同サイズならば2倍以上の出力、同出力ならば半分までの小型化が実証されていること、②モータの高出力・小型化が特に求められる自動車、航空宇宙、鉄道、発電分野など、広範な産業分野への導入が期待される革新的な技術であること、③当社による量産技術の開発状況などから、アスターコイルの量産にかかる事業計画の実現性は高いと判断し、横手第二工業団地におけるアスターコイル量産工場の建設資金を対象とするシンジケートローンの組成を行いました。

秋田県では、産業の裾野が広く雇用創出効果も大きい自動車関連産業の振興を目指しており、「輸送用機械器具関連産業」を地域経済牽引事業と位置づけております。当社の革新的コイル事業は秋田県における今後の自動車関連産業を牽引する中心的な存在として、関連産業への広がりによる雇用創出や産業振興などが期待されております。

当行は、今後も事業性評価および多彩な金融手法の活用による成長資金の提供を通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

（注） 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構。日本最大級の公的研究開発マネジメント機関として、日本のエネルギー・環境分野と産業技術の一端を担う国立研究開発法人のこと。

記

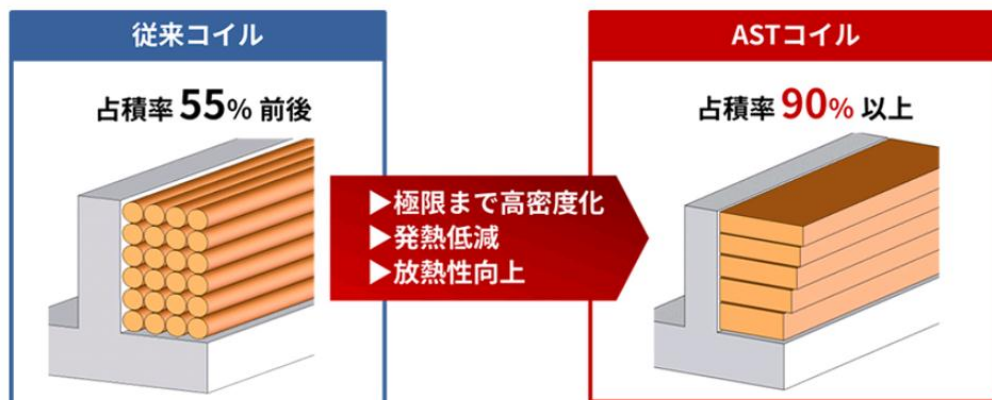
1 企業概要

企業名	株式会社アスター
代表者	代表取締役社長 本郷 武延
本社所在地	秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北18-3
従業員数	80名
事業内容	自動車関連部品製造販売、産業機械装置の開発・製造販売
設立	平成22年1月20日

2 シンジケートローン概要

契約締結日	平成30年7月13日
組成金額	41.7億円
資金使途	横手第二工業団地における新工場建設資金
参加金融機関	当行、株式会社北都銀行、秋田信用金庫、羽後信用金庫、秋田県信用組合、株式会社七十七銀行、株式会社岩手銀行

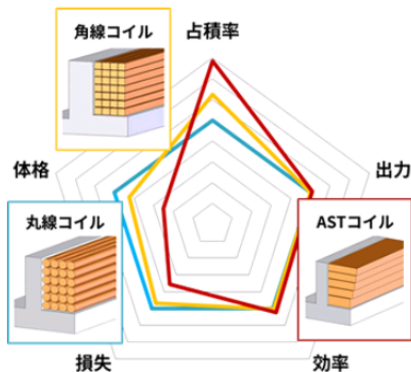
3 アスターコイルの性能



高密度丸線コイルを100とした場合の性能比較

	丸線コイル	角線コイル	ASTコイル
占積率	100	125	157
出力	100	100	102
効率	100	101	105
損失	100	94	71
体格	100	85	50

▶ コイルエンドの無駄削減と占積率増加により同仕様の場合1/2以下に小型化が可能



4 新工場イメージ



(以 上)